

KeyCreator™ Ver.7.0 新機能

対応 OS

● Windows VISTA に対応

OS名称	動作保証	備考
Windows VISTA	○	Business 日本語版 (32/64*ビット)
Windows XP	○	Professional 日本語版 (32/64*ビット)
Windows 2000	○	Professional 日本語版
Windows 3.1	×	サポート対象外OS
Windows 95	×	サポート対象外OS
Windows 98	×	サポート対象外OS
Windows Me	×	サポート対象外OS
Windows NT 3.5	×	サポート対象外OS
Windows NT 4.0	×	サポート対象外OS

- 64ビットOSは、32ビットアプリケーションとして動作保証。

ファイル

● パート一括印刷を追加（ファイル：パート一括印刷）

1つまたは複数のビューポート画面またはレイアウト画面を印刷します。

データ変換

● ファイル読み込みのオプション（ファイル：読み込み）

軽量モードコマンドの追加により、アセンブリ変換で、内部パートリファレンス又は外部パートリファレンスのどちらかを使うと、軽量モードアセンブリとして読み込むことが出来ます。読み込んだモデルを編集する場合は、軽量モードのオプションをクリアにして、ファイルをセーブする必要があります。

● CATIA v5 読み込みでアセンブリ形式の CGR リファレンスファイルをサポート（ファイル：読み込み：Catia v5）

Catia v5 読み込み機能で、アセンブリ形式の CGR リファレンスファイルを変換することが出来るようになりました。この機能はアセンブリを現在のパートの要素に平面化させて読み込む場合には変換することが出来ません。

- **書き出し機能で、書き出し要素形式を追加（ファイル：書き出し：HPGL/2、CGM、PDF、U3D）**

現在のビューポート上の可視領域をにある1つまたは複数の要素をHPGL/2、CGM、PDF、U3Dとして書き出しすることができるようになりました。

- **一括変換でPDFと3D PDFの書き出し（ファイル：一括変換）**

一括書き出しファイルの種類の中にPDFと3D PDFが加わりました。

- **外部変換の正式対応バージョン**

ファイル形式	サポートバージョン	データ変換	アセンブリファイルの読込
ACIS	1.5 - R17 まで	読込&書出	該当せず
CATIA V4	4.1.9 - 4.2.4	読込&書出	No
CATIA V5	V5 R2 - V5 R17	読込	Yes
	V5 R6 - V5 R17	書出	該当せず
DWG/DXF	2007 まで	読込	No
	R12 - R14, 2000/2002, 2004 - 2006	書出	No
IGES	5.3 まで	読込	Yes
	5.3	書出	該当せず
Autodesk Inventor	6 - 11, 2008	読込	No
Parasolid	10.0 - 18.0.141	読込	Yes
	12.0 - 18.0.141	書出	該当せず
Pro/E	16 - 2001, Wildfire1 - 3	読込	Yes
Solidworks	96 - 2007	読込	Yes
STEP	AP203, AP214	読込	Yes
	AP203, AP214	書出	該当せず
Unigraphics	11 - 18、NX1, NX2, NX3, NX4	読込	Yes
CADL 19	ImageModelor まで	書出	該当せず

上位バージョンで作成した KeyCreator のファイルは、下位バージョンで開くことはできません。

編集

- **ソリッド描画の編集でソリッドの編集と同じダイアログを表示（編集：要素：汎用編集）**

ソリッド描画として作成された下記の要素に汎用編集（編集：要素：汎用編集）を実行すると、一般のソリッドコマンドで作成されたソリッドを編集する際と同じダイアログを表示します。ダイアログは（下図参照）3つのタブ：材質の物理プロパティ、多面体化調整、属性で構成されています。旧バージョンでは、下記の要素に汎用編集を実行すると、属性タブのみが表示されていました。

- ・ 締結要素
- ・ 加工要素
- ・ 鋼材
- ・ 機械要素

「ソリッド描画として作成」とはツール：締結要素、ツール：加工要素、ツール：鋼材、ツール：機械要素を使用する場合に、描画 オプションでソリッドを選択しながらモデルを作成することを意味しています。



- **材質のレンダリングプロパティ設定をシェル要素にも適用（編集：要素：材質のレンダリングプロパティ設定）**

材質のレンダリングプロパティ機能を使い、曲面物体、ソリッド物体、シェル要素に材質のレンダリングプロパティを割り当てることが出来るようになりました。（旧バージョンでは曲面物体とソリッド物体のみ、この機能が有効でした。）

- **材質の物理プロパティ設定の複数選択（編集：要素：材質の物理プロパティ設定）**

材質の物理プロパティ機能を使い、ソリッド描画として作成された締結要素、加工要素、鋼材、機械要素に材質の物理プロパティを指定することが出来るようになりました。

表示

- **ツリーウィンドウに NC ツールタブを追加（表示：コントロールバー：ツリーウィンドウ）**

ツリーウィンドウに NC ツールバスタブが追加されました。NC ツールバスタブにあるツリーにはツールパスと NC CKD ファイルが表示されています。このツリーの右クリックで、全ての NC 操作を実行することが出来ます。

- **表示メニューにライト方向を追加（表示：レンダリング：ライト方向）**

ライトの方向を調整し、陰影付きのモデルの照明効果を操作します。

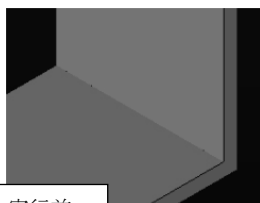
モデリング／形状修正

- **スプライン交線を作成する為の要素として、パートリファレンスを選択（作図：拡張スプライン）**
次の機能では、スプライン交線を作成する為の要素として、パートリファレンスを選択出来るようになりました。

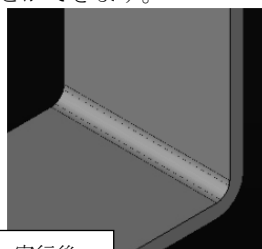
- ・作図：拡張スプライン：ソリッドと平面の交線
- ・作図：拡張スプライン：ソリッドとソリッドの交線
- ・作図：拡張スプライン：平面と曲面の交線
- ・作図：拡張スプライン：曲面と曲面の交線

- **自動コーナー曲げを追加（作図：ソリッドフィーチャ：自動コーナー曲げ）**

尖ったエッジを持つソリッド物体のコーナーを展開可能なシートベンド形状に変更します。エッジを指示すると、最適な照合エッジ（指示するコーナーと向かい合うもう一つのコーナーエッジ）を見つけ出し、シートの厚みを計算し、指定する半径値でエッジにブレンド面を作成します。この操作で、コーナーの内側と外側形状の両方を同時に変更することができます。



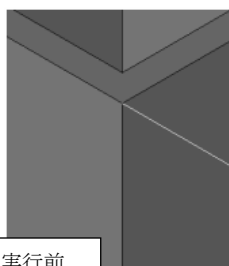
実行前



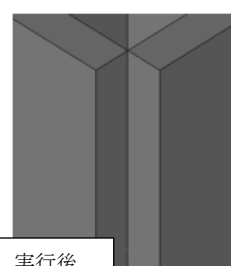
実行後

- **板金コーナーカットを追加（形状修正：ソリッドのトリム/分割：板金コーナーカット）**

ソリッドのコーナーからソリッドを一部削り取り、隣接する面を2つに分けます。



実行前



実行後

寸法

- **自動寸法に汎用編集が使用可能（寸法：自動寸法）**
自動寸法機能で書いた寸法に汎用編集や汎用移動機能を使用することが出来るようになりました。
- **断面図ダイアログのオプション設定を追加（寸法：断面図）**
断面図ダイアログボックスの中にスケール表示チェックボックスとパターン 設定を追加しました。
- **寸法オプションダイアログの分数の最小単位に「1」を追加（寸法：設定：パラメータ）**
寸法表示が「分数表示」または「フィート/インチ」になっている場合に分数の最小単位の設定を「1」に設定できるようになりました。この設定は全ての寸法において共通です。
- **基準寸法オプションダイアログに最小要素ギャップの設定を追加（寸法：設定：パラメータ）**
最小要素ギャップの設定が寸法オプションダイアログの基準寸法の設定に追加されました。2つ以上の基準寸法のテキストの配置を最小でどれくらい近づけるかを指定します。

アセンブリ

- **軽量モード機能を追加（アセンブリ：軽量モード）**
 - ・ アセンブリ：軽量モード
 - ・ パートスプリッタ切替えのパートリファレンスタブの軽量列を追加
 - ・ アセンブリ：リファレンス作成ダイアログのオプションタブに「視覚用途のみの軽量リファレンスの設定」
 - ・ パートスプリッタ切替えのレベルセットタブのストリーム列を追加

アセンブリを軽量モードで表示出来ます。これによりリファレンスモデルを、全図形データを読み込むことなく表示することができます。

- **3つのアセンブリ機能を追加**
次の3つのアセンブリメニューを選択すると、コンパセーションバーの上に [アセンブリ] ボタンが表示されます：
 - ・ 全リファレンスを絶対パスに変更
 - ・ 全リファレンスを相対パスに変更
 - ・ パートリファレンス置換え

[アセンブリ] ボタンはコンパセーションバーの [全表示] ボタンと似ていますが、[全表示] ボタンとは違い、アセンブリ全体を選択する機能になります。つまり、一旦 [アセンブリ] を選択すると、現在のパート内にある全てのリファレンスに対してコマンドが実行されます。また、アセンブリツリーを通してそれらのリファレンスに直接または間接的に参照されるすべてのパートにも実行されます。

ツール

- **マスプロパティで計測できる選択要素を追加（ツール：要素確認：マスプロパティ）**
マスプロパティを使用して、ソリッド描画で作成された締結要素、加工要素、鋼材、機械要素を計測できるようになりました。
- **BOM 機能で作成した要素に汎用編集が適用（ツール：部品表：部品表作成）**
部品表作成機能で作成した要素に汎用編集や汎用移動機能を利用して、編集や移動ができるようになりました。
- **簡易部品表に汎用編集が適用（ツール：部品表：簡易部品表）**
簡易部品表機能で作成した要素に汎用編集や汎用移動機能を利用して、編集や移動ができるようになりました。
- **表のみ作成に汎用編集が適用（ツール：部品表：表のみ作成）**
1要素として表を作成するように変更されました。これにより表を作成後、汎用編集や汎用移動機能を利用して、編集や移動ができるようになりました。
- **Direct 3D ドライバを追加（ツール：オプション：表示）**
表示タブのドライバのタイプのダウリストの中に Direct 3D を追加しました。
- **クイックムーブオプションを追加（ツール：オプション：表示）**
3種類のクイックムーブチェックボックスを追加：
 - ・非要素アニメーションのクイックムーブ使用
 - ・ワイヤーフレームアニメーションのクイックムーブ使用
 - ・ソリッドアニメーションのクイックムーブ使用

クイックムーブを使用すると、KeyCreator 内の変更やスクリーン更新処理速度が速まります。実際、クイックムーブを使うことにより、通常のウィンドウズのリフレッシュ処理を行わずに、移動や削除など画面の更新に必要な際の追加処理をおこないます。
- **選択タブに検出最大要素数を追加（ツール：オプション：選択）**
オプション設定ダイアログの選択タブの中に検出最大要素数のオプション設定を追加しました。

拡張機能

- **CDE プログラムの機能追加**

使用方法の詳細は別途、KeyCreator CD-ROM の拡張機能の中にある Qwins の PDF マニュアルをご覧ください。

その他

- **「シェルに適用」オプションが材質タブの右クリックメニューに追加（パートスプリッタ切替えの材質タブ）**

材質のタブに表示されるカラー、透明度、テクスチャ球の右クリックメニューに「シェルに適用」オプションが追加されました。

- **パートスプリッタの切替えリストに列を追加（パートスプリッタ切替えのパートリファレンスとレベルセット）**

パートスプリッタ切替えのパートリファレンスタブに非表示列と抑制列を追加しました。
また、レベルセットのタブにストリーム列を追加しました。